

青少年姉妹都市等派遣事業国内研修を実施しました

青少年姉妹都市派遣事業として、姉妹都市であるオーストラリア・ホワイトホース市と青少年海外派遣事業として、新たな都市間交流を推進するため、アメリカ合衆国・サンタクラリタ市へ海外派遣する予定でしたが、新型コロナウイルスの蔓延状況等により、派遣を中止しました。

その代替えとして、福島県岩瀬郡天栄村のブリティッシュヒルズで、国内研修を実施しました。3泊4日の研修に、令和3年度高校生英語スピーチコンテストの入賞者のうち生徒5人が参加し、英語を常用語とする環境の中で、英国の文化・マナーに触れながら活きた英語を学ぶことができ、英語力アップのみならず異文化理解を深める良い機会となりました。



たなか 田中 けいと

私はブリティッシュヒルズに行けて英語力を上げられたと感じたのでブリティッシュヒルズの研修に参加できてよかったと思う。英語を話す機会は日常生活で学校の授業くらいしかないが、ブリティッシュヒルズでは朝から晩までずっと英語を話す機会があり、自分の英語力を試したり、新しい知識を手に入れたりする機会になった。コミュニケーションをすべて英語でしなければならぬ状況に置かれたので、自分がすでに持っているボキャブラリーでどうにか意思を相手に伝える力や瞬発力が鍛えられたと感じた。一方で、私の英語力の未熟さや改善点を思い知らされ、これからも英語の勉強を頑張っていこうというモチベーションにもつながった。コロナ禍で、オーストラリアへの派遣が中止になり、とても残念だったが、ブリティッシュヒルズでの研修に参加できてとてもよかった。

しかし、本来はオーストラリアに行き、ホームステイや現地の学校での生活を通して知らない文化に触れたり、友達を作ったりすることを期待していたので、今振り返ると、やはり、オーストラリアに行ってみたかったなと思う。また、オーストラリア派遣では朝起きた瞬間から寝るまで、ブリティッシュヒルズでの研修のように英語が出来ないときに助け合える友達がいない中で、ホストファミリーやクラスメイトとずっと英語で話したり、授業をうけたりしなければならなかったことを考えると、ブリティッシュヒルズでの研修は易しかったのかなと思った。コロナがいつ収まるかはわからないが、なるべく早くオーストラリアへの派遣が再開されるといいなと思った。それでも、ブリティッシュヒルズに行ったことで、大好きな英語に触れられる機会を得られたことはとても貴重でうれしいことだった。

海外渡航が許されない状況下で、私たちにどうにか英語研修の機会を設けてくださった皆様、本当にありがとうございました。

2022年7月1日
年 報



わ 和 & 輪

No.30

編集発行（公財）松戸市国際交流協会
〒271-0092 松戸市松戸1307-1
松戸ビルディング4階（松戸市文化ホール内）
☎047-711-9511 FAX 047-308-6789
URL: <https://www.miea.or.jp>
E-mail: office@miea.or.jp



新しい国際交流協会の事務所です



国際友好ルームに隣接した位置です

CONTENTS

はじめに	P1
理事長あいさつ／会員の状況／入会案内	P2
収支予算／役員・事務局の紹介	P3
事業紹介	P4・5
会員の声	P6・7
青少年姉妹都市等派遣事業国内研修	P8



松戸市文化ホール（4階）内にあります

～はじめに～

松戸市国際交流協会（MIEA）の事務所が2022年3月5日に、松戸駅西口の松戸市文化ホール内に移転しました。国際友好ルームに隣接した位置となり、連携がしやすくなりました。事務所の受付スペースは、移転前よりも拡大されました。新しい電話番号等は下記のとおりです。

公益財団法人JKA（競輪）の補助金により、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、協会事務所、姉妹都市コーナーに空気清浄機を、また国際友好ルームには空気清浄機のほかにサーマルカメラ（体表面温度測定カメラ）を、それぞれ設置しています。

松戸市国際交流協会では昨年度に引き続き、密にならない参加人数の設定や、オンラインでの開催など、十分な感染リスク対策を講じながら、各種の事業を実施してまいります。

新しい所在地：〒271-0092 松戸市松戸1307番地1 松戸ビルディング4階（松戸市文化ホール内）
新しい電話番号：047-711-9511（Eメール、FAX番号は変更ありません）
窓口受付時間：（火）～（金）の10時～16時30分、電話受付時間：（月）～（金）の9時～16時30分

理事長あいさつ



理事長 伊藤 誠

松戸市国際交流協会は、今年3月キテミテマツドに隣接する松戸ビルディング4階にある文化ホールに事務所を移転しました。この文化ホールでは、国際友好ルームで日本語教室等が開かれているほか、生涯学習サロンも市民の方々に利用されていますので、皆様にはこれまでより気軽に事務所に立ち寄っていただけるのではないかと思います。

昨年度も、新型コロナウイルスの感染拡大は沈静化せず、市民生活への影響が続きましたが、そうした状況下でも、日常生活を少しでも取り戻すための努力が行われました。松戸市国際交流協会では、年間主要行事の多くを可能な限りの感染防止対策を講じた上で、また必要に応じて人数制限をするなどして実施することができました。これも皆様のご協力のおかげと感謝しております。

その中で、オーストラリアへの青少年姉妹都市派遣や米国への青少年派遣は、海外に関心のある若い世代の人たちに、国際交流を実際に体験してもらいたいとの思いからなんとか実現したかったのですが、海外渡航制限のため昨年度も中止せざるを得なかったのは非常に残念でした。今年度こそは海外渡航制限が緩和され、両国への青少年の海外派遣が実現することを願っております。

松戸市国際交流協会では、今回のロシア軍によるウクライナ侵攻により、日本に避難してきたウクライナの人たちを松戸市に受け入れるにあたり、電話相談窓口となり問い合わせに対応するとともに、ウクライナの人たちを支援するための募金箱を設置するなどの協力を行ってきました。現在の国際社会の中で、このような軍事力による一方的な現状変更の企てが行われたことに大きな驚きを感じるとともに、ウクライナにおいて多くの悲惨な人道問題が生じていることに強い衝撃と憤りを感じます。ウクライナの人たちに平和と安寧が一日も早く戻ることを強く願うばかりです。

会員の状況

令和4年4月1日現在

種 別	日本人	外国人／国・地域	法人	団体	学生	家族	計
会員数	303	935／58	26	31	46	16	1,357

ホストファミリー登録者	通訳・翻訳登録者／登録言語	日本語ボランティア登録者
6	45／11	64

(公財)松戸市国際交流協会(MIEA)では、 随時、会員を募集しています。

- ☆いろいろな国の文化を知りたい。
- ☆いろいろな国の人と交流したい。
- ☆いろいろな国の人にかかわるボランティアをしてみたい。

このような思いのある方は、ぜひMIEAにご入会ください。松戸で国際交流を楽しみましょう！

Facebook & Twitter & Instagramで
最新情報を発信中です！



賛助会費(年度ごと)

- ・日本会員 3,000円
- ・外国会員 1,000円
- ・学生会員 1,000円
- ・家族会員 5,000円
- ・団体会員 5,000円
- ・法人会員 10,000円

令和4年度収支予算書(増減計算方式 要約)

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの収支予算をお知らせします。事業内容の充実に努め、市民の皆様中心の国際交流活動を推進してまいります。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

令和4年度公益財団法人松戸市国際交流協会収支予算書(増減計算方式 要約)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	4年度予算額	3年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	2,212,000	2,212,000	0
②受取会費	1,522,000	1,472,000	50,000
③事業収益	4,400,000	4,001,000	399,000
④受取補助金等	56,455,000	57,083,000	△ 628,000
⑤寄付金等収入	5,000	5,000	0
⑥雑収益	11,000	11,000	0
経常収益計	64,605,000	64,784,000	△ 179,000
(2) 経常費用			
①事業費	44,433,000	43,551,000	882,000
②管理費	20,172,000	21,233,000	△ 1,061,000
経常費用計	64,605,000	64,784,000	△ 179,000
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
一般正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	300,000,000	300,000,000	0
III 正味財産期末残高	302,000,000	302,000,000	0

役員・事務局職員を紹介します

協会の役員とスタッフを紹介します。令和4年度の役員数は、理事7名、評議員9名、監事2名です。

名 誉 顧 問	飯沼 誠	評 議 員	山田 常基	監 事	富田 将之	
理 事 長	伊藤 誠		平林 大介		入江 広海	
副 理 事 長	木川 総一郎		山口 桂明	事 務 局	事務局長 渡邊 武	
常 務 理 事	千石 秀幸		日向野 富士子		次 長 吉村 雅子	
理 事	羽毛田 信吾		伊藤 芳績		補 佐 石村 栄一	
	大和田 順一		池内 正幸		国際交流員 トン アイリス	
	恩田 久栄		八島 未和		事 務 局 員	片山 麻里
	小川 哲也		齋藤 則夫			郭 秋霞
			中川 惠津子			
			小林 克巳			
			田中 由紀子			

MIEA 事業紹介 OUR EVENTS

2022年度の主な事業を紹介します。
詳細は、後日「MIEAホームページ」「みいあすてーしょん」などでお知らせします。

第27回松戸市国際文化祭

Matsudo International Cultural Festival

日時：10/22(土)10:00～15:00
会場：松戸市民会館



第33回国際交流パーティー

International Exchange Party

日時：12/11(日)13:00～15:30
会場：森のホール21（4階レセプションホール）



MIEA 世界めぐり

MIEA World Tours

★アメリカ文化紹介

PART1

アメリカ南部出身の講師が
アメリカ南部の食べ物の歴史、特徴と影響について英語と日本語を交えて話します。

日時：7/30(土)

13:00～14:30

会場：国際友好ルーム

講師：Breanna Hundley氏（松戸市CIR）

★ベトナム文化紹介

ベトナム文化紹介とクラフト体験をします。

日時：8/3(水)10:00～11:30

会場：青少年会館

講師：Truong Thuy Lan氏（松戸市CIR）

★外国の食文化紹介（台湾料理）

台湾出身のまつど国際文化大使と一緒に肉まんづくりをしよう。（小学3～6年生とその保護者の料理教室です）

日時：7/29(金)10:30～13:30

会場：松戸市民会館料理教室

講師：宋 如芳氏（まつど国際文化大使）



★外国の食文化紹介（ベトナム料理）

おやこでつくる！ベトナム料理。

日時：8/24(水)10:30～14:00

会場：松戸市民会館料理教室

講師：Truong Thuy Lan氏（松戸市CIR）

★外国の食文化紹介（韓国料理）

韓国語でブルコギとコンナムルビビンバを作ろう。

日時：9/10(土)10:30～14:00

会場：松戸市民会館料理教室

講師：崔 孝英氏

★外国の食文化紹介（チェコ料理）

日時：11/23(水・祝)10:30～14:00

会場：松戸市民会館料理教室

講師：小林 ブランカ氏

★日本の食文化紹介（太巻きづくり）

日時：1/28(土)10:30～14:00

会場：松戸市民会館料理教室

講師：渋谷 久子氏

★K-POPを体験しよう

日時：6/4(土)10:00～11:30 13:00～14:30

会場：青少年会館

講師：Ayaka氏

★日本文化体験

流山さんぽ：5/28(土)10:00～12:00

飛鳥山さんぽ：6/25(土)10:00～12:00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が変更や中止となる場合があります。ご了承ください。

スピーチコンテスト Speech Contest

★第41回松戸市高校生英語スピーチコンテスト

日時：8/20(土)13:00～17:00 会場：松戸市民劇場

★第31回外国人日本語スピーチコンテスト

日時：2/18(土)13:00～17:00 会場：松戸市民劇場



日本語スピーチコンテスト

語学講座 Language Courses

★はじめてのドイツ語（前期・後期各10回）

前期日時：5/14～7/23 毎週(土)13:15～14:45

会場：国際友好ルーム

講師：Bilik Eva氏

★キッズダンス×イングリッシュ（全3回）

日時：7/16(土)～7/18(月・祝)13:30～15:00

会場：男女共同参画センターゆうまつどホール

講師：MIKI ISHIZAKA氏

★やさしい韓国語入門（前期・後期各15回）

日時：5/7～9/3 毎週(土)10:30～12:00

会場：国際友好ルーム

講師：崔 孝英氏

★世界を知ろう！世界の人とふれあおう！（全6回）

日時：5/21、7/23、9/17、11/19、1/14、2/25(土)

英語：10:15～11:45 韓国語・中国語：13:00～14:30

会場：松戸市文化ホール

★やさしい中国語入門（全10回）

日時：9/2～11/11 毎週(金)15:15～16:45

会場：国際友好ルーム

講師：羅 廣穂氏

まつど国際文化大使 Matsudo International Cultural Ambassadors

※国際理解のための講座や交流イベントなどを開催する団体やサークルに大使を派遣します。（第24期15カ国・地域/35人）

★第25期まつど国際文化大使委嘱式

日時：9/4(日)14:00～16:00

会場：松戸市民会館301会議室



青少年姉妹都市派遣 Youth Delegation

・事前説明会

日時：8/20(土)17:00～18:00

会場：松戸市民劇場会議室

・公募審査 11月（予定）

・派遣期間 3月中旬の8日間

・派遣先 オーストラリア・ホワイトホース市

その他 Others

★ワンデイ・トリップ

実施日：11月予定

行き先：未定

★ホームステイ、ホームビジット

★姉妹都市交流

★国際交流団体支援

★海外からの受け入れ

★異文化交流サークル

かい いん こえ 会員の声 Member's Voice

かい いん みなさま こえ
会員の皆様のお声として、まつど国際文化大使の皆様に原稿をお寄せいただきました。

まつ ど 松戸のミニ世界 MIEA

ライ スシル
RAI SHUSIL (ネパール)

2017年から松戸に住んでいます。ネパールでは看護師をやっていました。松戸に住み始めて外国人ができる活動を探してみたら、MIEAが気に入ったので参加してみようと思いました。

私はネパールのライ (RAI) 民族で、主人はマガル (MAGAR) 民族です。それぞれ文化、母国語、習慣があり、MIEAでは主にライ民族の文化、衣装などを紹介しています。

昨年はコロナ禍であまり活動が出来ない状況でした。やっと9月にまつど国際文化大使委嘱式に参加することが出来ました。国際文化祭のボランティア、国際交流パーティーでネパールの歌と踊り、市立松戸高校の生徒とzoomで異文化理解講座を行いました。生徒さんたちにネパールについて興味を持ってもらえることができて嬉しかったです。松戸に住んで日本語がよく分からないネパールの方々の日本語通訳や看護師としてボランティア活動が出来ればいいかなと思います。MIEAを通して普段出会えない方々と会えて、いろいろな国の文化、習慣なども知る事が出来ました。松戸市に住んでいるいろいろな国の方々の参加があればもっと広い交流になると思います。今後もよろしくお願いします。



キラート ライ ヤヨッカ東京での司会



第24期まつど国際文化大使委嘱式にて
ご主人 (SARU YAMAN BAHADUR さん、まつど国際文化大使) と一緒に

こく さい ふう かい とお 国際交流を通した創造性あふれる ほう せつ てき 包摂的な社会づくりを目指して

ほて せう けい
佐藤 秀樹

第24期まつど国際文化大使に申し込んだ理由は、松戸市の国際化を自分事として捉え、身近な暮らしから異文化理解の対流の輪を広げたいと考えたからです。私はこれまで20年程、開発途上地域にて環境保全や農業・農村開発の取り組みを現地の人たちと一緒に進めてきました。そして、日本の生活が成り立つのは、地球の豊かな自然環境と世界の人たちが食料生産等に一生懸命に汗を流してくれているおかげだと強く感じてきました。これが私の国際交流促進の重要性を考える礎の一つです。日本を支えてくれる世界の人たちに敬意を払い尊重することを忘れずに、国際交流による創造性あふれる社会づくりに貢献していきたいです。

2021年12月12日には、森のホール21レセプションホールにて「第32回国際交流パーティー」が行われました。そこでは、まつど国際文化大使として司会を務める機会を頂きました。パーティーではそれぞれの国の出身の国際文化大使による多様な民族衣装や文化の紹介がありました。これらは、国際交流の持つ特色を十分に発揮し、人々の心を魅了させてくれる内容でした。

現在、私は大学の教員として環境学の授業を担当しており、松戸市では市民活動団体のメンバーとしてSDGsの普及啓発活動に従事しています。今後は、国際交流が包摂的な社会づくりに一層貢献できるよう、まつど国際文化大使としてできることを着実に進めていきたいです。



バングラデシュで開発した生物多様性保全の
教材試行をしている小学校への訪問

だい に ふる さと まつ ど 第二の故郷、松戸

コリーン シュムコー
Colleen C. Schmuckal

When I first moved to Matsudo, I never thought this place would become my “home away from home”. However, after almost a decade of being a resident in Matsudo, getting married to my love and bringing my first child into the world, I know Matsudo will always be my home. That is because the people here are wonderful.

I'm now a lecturer and research specialist on shamisen, teaching students at Rikkyo University, Tokyo College of Music and Tokyo University of the Arts about what makes Japanese traditional music so unique within today's musical scene. As a cultural ambassador of Matsudo, I was able to bring my musical expertise to a broader audience, leading interactive workshops and performing shamisen live, both traditional songs and my own compositions, throughout the city. I am presently working on an interactive website to present my research and activities, focusing on my fieldwork on Hanawa-bayashi in Akita Prefecture, to better quantify and legitimize all Japanese music throughout Japan and abroad.

It was through being a cultural ambassador and working directly with the Matsudo community that I learned of the cultural richness within Matsudo city itself, both historically and internationally. However, this rich history is not typically celebrated, or even well known within Matsudo itself. Therefore, my present research and shamisen goal is to start creating new musical interactions, based on regional history and culture, between everyone living in Matsudo: the old, young, Japanese, and foreign. I'm presently learning Mansaku-odori, a uniquely Matsudo tradition that utilizes shamisen, in the hopes to find a fun, easy way to incorporate this music into our communities, giving everyone a chance to experience this dying genre first-hand. I want children to pick up drumsticks and play along with the shamisen and for parents to dance and feel these traditional rhythms in new, meaningful ways. I very much believe it is the people of Matsudo that is this city's biggest asset. So I hope that through these activities I can bring all of us “people” together to continue to create and share Matsudo's history, culture, and, most of all, wonderful music.

(日本語訳)

松戸に引っ越してきた当初は、ここが「第二の故郷」になるとは思ってもみませんでした。しかし、松戸に住んで約10年、愛する人と結婚し、第一子が誕生した今、松戸はずっと私の故郷であり続けると思っています。それは、この人たちが素晴らしいからです。

私は現在、三味線の講師・専門研究員として、立教大学、東京音楽大学、東京藝術大学で、学生たちに日本の伝統音楽が今日の音楽シーンにおいて、なぜこれほど独特であるのかについて教えています。

また、まつど国際文化大使として、私の音楽の専門知識をより多くの人々に伝え、対話型のワークショップを開催し、伝統的な曲や自作の曲を松戸市内でライブ演奏をすることができました。現在は、国内外の全ての日本の音楽をより良く定量化し、かつ正当に評価するために、「秋田県の花輪ばやし」についてのフィールドワークに焦点を当てた私の研究や活動を紹介するインタラクティブなウェブサイトを制作中です。

そして、まつど国際文化大使として松戸の人々と直接関わることで、私は松戸市が歴史的にも国際的にも文化的にも豊かであることを学びました。しかし、この豊かな歴史は、一般的に称えられている訳ではなく、松戸市の中でも良く知られている訳でもありません。従って、私の現在の研究と三味線の目標は、地域の歴史や文化に基づき、松戸に住むすべての老若男女、日本人、そして外国人において、新しい音楽交流を始めることです。現在、三味線を使う松戸独特の「万作踊り」を習っていますが、この音楽を楽しく簡単に地域に取り入れる方法を見つけ、この失われつつあるジャンルを直接体験してもらえたらと思っています。子供たちにはばちを手に三味線と一緒に太鼓を叩いても

らい、親たちには踊ってもらい、この伝統的なリズムを新しく、有意義な方法で感じてもらいたいと思います。私は、松戸の最大の財産は、松戸の人々だと考えています。これらの活動を通じて私たち「人々」が一つとなり、松戸の歴史、文化、そして何よりも素晴らしい音楽を、創造し、共有し続けていけることを願っています。



秋田県花輪で「花輪ばやし」を演奏 (日本テレビ news every. で放送)



市内の自治会でアメリカンフルートを演奏



孫 瀟 夢 さん (中国笛子を演奏) と一緒に